

※募集に関する情報・応募書類等は一部変更される場合があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合もある。よって、最新情報を必ず GoGlobal 東京大学海外留学・国際交流情報ウェブサイトを確認すること。

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/s0501_00107.html

1. プログラム概要等

(1) プログラムの概要

東京大学と国際協力機構（JICA）との協力により、2025年3月9日（日）～22日（土）の約2週間、ガーナにて途上国の現場で活躍する JICA の専門家や海外協力隊員の国際協力活動を模擬体験するプログラム。使用言語は英語となり、事前の連絡・オリエンテーション・プログラム実施・フォローアップ等を全て英語で実施する。

(2) プログラムの目的（参加学生に期待すること、期待される成果）

- ・ガーナの教育現場を体験すること、またガーナの人々から学ぶことで、参加学生が開発途上国の現状や課題を理解し、より多角的にグローバルな視点を養うこと。
- ・実際に JICA 海外協力隊員や JICA 専門家等と一緒に活動することで、社会課題の解決能力を身に付けること。
- ・開発途上国の同世代の学生等と交流を行い、グローバルなネットワークを構築すること。

(3) JICA と東大の協力関係

東京大学は国際協力の実施機関である JICA と連携して、開発途上地域における様々な分野での国際協力を実施してきている。今般、こうした国際協力の連携実績を踏まえ、将来公的機関、ビジネス界を問わず国際協力の分野で活動することを希望する学生に対して、途上国の現場で活躍する専門家や協力隊員の活動を模擬体験する機会を提供することで合意した。本パイロットプログラムはプログラムの本格実施に向け試行的に実施するもので、プログラムの意義が確認され、双方が合意すれば JICA の「大学連携ボランティア事業」と位置づけて一定期間継続的に実施することを想定している。

なお、本パイロットプログラムは 2025 年 8 月に横浜で開催予定の TICAD 9（※）に向けて、日本、アフリカ双方の学生・若者の交流とそれを契機としたイノベティブな課題解決のアイデアを提案するなど、現地での活動のみならず帰国後の自主的な活動を主導する学生の応募が期待される。

※TICAD（アフリカ開発会議、Tokyo International Conference on African Development）は、アフリカの開発をテーマとする国際会議であり、1993 年から日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、アフリカ連合委員会（AUC）、世界銀行と共同で現在は 3 年に一度開催している。TICAD9 は 2025 年 8 月 20 日～22 日に横浜で開催予定。

（参考）外務省 HP：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/index.html>

(4) 補足事項

- ・プログラムの内容や資格・要件等の詳細は、別紙 PROGRAM INFORMATION を参照すること。
- ・事前研修、現地での移動手段の手配、宿舍手配、安全確保などは JICA が実施する。
- ・プログラムには JICA スタッフが同行予定である。本学の教職員は同行については未定。

2. 募集人数

学部・大学院学生 合計 8 名程度

3. スケジュール

時期	予定
2024 年 11 月中旬	募集要項公開
2024 年 12 月 16 日（月）正午	学内応募締切 <u>※学部・研究科の担当部署によっては、応募前に必要なプログラム参加に関する学務上の留意点の説明を受ける締切日をこれより早く設定している場合があるので、事前によく確認し、締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。</u>
2025 年 1 月中旬頃	学内選考・結果通知
参加学生確定後～プログラム開始日前	参加に向けての準備・手続き等
2025 年 1 月下旬～2 月頃	<u>オリエンテーション（全員参加必須）</u> ① JICA からのオリエンテーション：1～2 時間を 2 回程度、17 時以降の時間帯を予定 ② 東京大学からのオリエンテーション：1 時間程度を予定
2025 年 3 月 9 日（日）～22 日（土）	プログラム開催
プログラム終了後 2 週間以内	プログラム終了後の書類の提出（報告書等）
2025 年 4 月以降	プログラムのフォローアップ活動（次年度以降に向けたフィードバック）
2025 年 8 月頃	TICAD 関連イベントへの参加等 (現時点ではプログラム参加者による TICAD9 サイドイベントでの成果等報告を予定しており、別途そのための準備が必要となります)

4. 応募資格・条件

以下の要件をすべて満たすこと。

【学内における資格・条件】

- (1) このプログラムは、パイロット事業として初めて開催される。安全面については JICA がサポートするが、日本とは異なる環境で、プログラムの運営がスムーズに進まないことや、スケジュールの変更などが発生する可能性がある。今回から試行的に始める新たな取り組みであるため、「待ち」の姿勢ではなく、参加者同士や JICA 関係者、本学教職員と協力し、持続可能な活動を作ること

できる学生を募集する。

- (2) 2025 年 9 月頃までプログラムのフォローアップの活動が続くため、応募時から 2025 年 9 月まで本学学部または大学院研究科・教育部の正規課程に在籍し、プログラム期間を通じて本学学部または大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者（プログラム期間中に休学中の者や、2025 年 3 月～9 月の間に卒業・修了等により本学学籍を失う者は参加できない）。本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、全日程参加が可能な場合のみ応募すること。なお、本学からの派遣可能人数に上限があり、応募締切後に辞退すると他の学生の参加の機会を失うことにつながるため、応募締切後の辞退は原則として認められない。
- (3) 本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、プログラム参加時の所属学部・研究科の判断による。本プログラムへの参加に際し、特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で応募すること。
- ※教養学部前期課程に関しては、本募集要項プログラムの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる。また、欠席による追試験の申請理由にもならないが、詳細は教養学部教務課に確認すること。
- (4) 本プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに応募することを事前に報告し、了承を得た上で UTAS 申請書の所定の欄に了承を得た日付を入れること。該当する教員等がない学生は、所定の欄に「指導教員なし」と入力すること（14. 応募方法・応募書類(2)）。
- (5) プログラム参加時の所属学部・研究科の担当部署で、応募前に、プログラム参加に関する学務上の留意点の説明を十分受け、UTAS 申請書の所定の欄に担当部署名・担当者のイニシャル・説明を受けた日付・時刻を記入し、納得した上で応募すること（14. 応募方法・応募書類(2)）。記入されていない場合は申請を受理しない。業務の都合等により、急な対応は受け付けられない可能性があるため、プログラム中に所属する予定の学部・研究科の担当部署によく確認し、締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。なお、学部・研究科により、プログラム参加にあたって独自の条件を課す場合がある。
- (6) 渡航前のオリエンテーションには必ず出席すること（オリエンテーションについては、「3.スケジュール」参照）。詳細は学内選考後に通知する。オリエンテーションに無断で欠席した場合は、プログラムへの参加資格を失うことを応募にあたり理解すること。
- (7) 活動の中で撮影した写真や映像を本学や JICA のウェブサイト、その他プロモーション資料に使用することがあるため、写真や映像の使用に同意する学生を募集する。

【プログラムが求める資格・条件】

(1) 参加に必要な語学要件

（英語）中級程度の英語能力（Common European Framework of Reference for Languages (CEFR ※) の B2～C1 レベル）を保持していること。プログラムでの使用言語は英語となり、事前の連絡・オリエンテーション・プログラム実施・フォローアップ等を全て英語で実施する予定。何らかの英語能力の証明書を提出することが望ましいが、所持していない者も応募できる。ただし、その場合は上記 CEFR の基準を確認の上、応募すること。

※参考：文部科学省資料（各資格・検定試験と CEFR との対照表）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2018/07/27/1407616_003.pdf

（日本語）特に定めないが、海外協力隊員とのやりとりが一部日本語となる場合があり、日常会話レベルの日本語ができることが望ましい。日本語が得意でない参加者がいる場合は参加者同士で助け合うことを想定している。

(2) ガーナ渡航にあたっての査証取得・黄熱病予防接種を行うこと（詳細は別紙参照）

(3) 2025 年 8 月 20 日～22 日に開催される TICAD 9 本会合期間ならびにその前後に開催予定の TICAD 関連イベントに参加すること。

（参考・イベントイメージ：TICAD 閣僚会合テーマ別イベント（ユース）

https://www.jica.go.jp/information/seminar/2024/1549305_52234.html ）

【保険への加入】

プログラムへの参加が決定した場合、プログラム期間中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入することを、応募にあたり同意すること（加入に要する経費は自己負担となる）。

加入期間は日本出国（日本の自宅を出る日）から帰国（日本の自宅に帰る日）までとなる。間違った加入期間によって発生した損害は自己負担となる。なお、加入にあたっての詳細は、選考終了後、派遣候補学生に追って通知する。

【派遣留学生危機管理サービスへの加入】

プログラムへの参加が決定した場合、プログラム中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス(株)の[派遣学生危機管理サービス OSSMA \(Overseas Student Safety Management Assistance\)](#)に必ず加入することを、応募にあたり同意すること（加入に要する経費は自己負担となる）。なお、加入にあたっての詳細は、選考終了後、派遣候補学生に追って通知する。

【宿泊先について】

宿泊先は個室とは限らず、プログラムの都合により宿泊先が変更になる場合がある。原則、宿泊先の振り分けは派遣先が行い、宿泊先の環境は個人によって異なる可能性がある。様々な異なる環境の滞在先があることを理解した上でプログラムへ申し込むこと。

5. プログラム料金・費用・奨学金

(1) 東京～ガーナ間の航空賃は東京大学が負担する。プログラムに参加が決定した者は、本部国際教育推進課が指定したフライトを利用する。

(2) その他の費用は学生の自己負担となる。（保険や危機管理サービスへの加入費用、ワクチン接種、ビザ取得等の渡航準備に要する費用、現地での宿泊費・生活費等。）自己負担額は 5～10 万円前後の見込み。

※詳細は別紙 PROGRAM INFORMATION 参照。

6. 応募締切

12 月 16 日（月）正午※

※本部国際教育推進課への問い合わせは 12 月 13 日（金）正午まで。

※学部・研究科の担当部署によっては、応募前にプログラム参加に関する学務上の留意点の説明の締切日をこれより早く設定している場合があるので、事前によく確認し、締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。

7. 学内選考

- (1) 原則、選考は書類審査による。
- (2) 可否結果の連絡等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は定期的に UTAS での電子申請時に記載された電子メールアドレスを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。
- (3) 本プログラムに参加することで、将来グローバル教育センターが実施する他のプログラム（全学交換留学等）への選考や参加には影響はない。
- (4) 選考結果は、1月中旬頃、電子メールで学生本人及び所属学部・研究科の担当部署に通知する。

8. 学内選考通過後の留意事項

【プログラム参加手続き及び渡航手続き】

- (1) 参加手続き及び渡航手続き等は、派遣先大学・本部国際教育推進課の指示に従い、本人の責任により行うこと。査証（ビザ）取得手続きについては、各自で行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任となり、それにより生じた経済的損失は自己負担となる。
- (2) パスポートを所持していない場合や、有効期限が切れる場合は、学内選考に通過後すぐに取得・更新を行うこと。

【学内での手続き】

- (1) プログラムへの参加が決定した場合、所属学部・研究科の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。（必要な手続きは、所属学部・研究科毎に異なる。）
- (2) プログラムへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者の教育・研究活動等に支障をきたさないよう努めること。
- (3) 応募締切後の辞退は他の学生の不利益となるため、プログラム参加の辞退はできない。やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく、本部国際教育推進課（studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）に連絡すること。
- (4) そのほか、本学が指示する注意事項に従うこと。

【海外渡航のための情報、危機管理】

一般的な海外渡航のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること（<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>）。特に、[危機管理ガイドブック](#)は必ず熟読すること。

9. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は本学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナ

一等を遵守すること。

10. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に本部国際教育推進課が定める報告書類(所定様式)を提出すること。
- (2) 応募時の UTAS からの電子申請に記載の住所や電話番号・電子メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課へ連絡すること。プログラム終了後も成績証明書や修了証の送付・必要事項の連絡の際にも必要となるので、留意すること。
- (3) 参加学生には、プログラム参加後、報告会や説明会への参加のほか、本学の国際化に関する業務への協力(プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

11. 問い合わせ先

※電子メールで問い合わせる場合は、必ず件名にプログラム名、本文に氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) プログラム全体、プログラムの内容、申請や手続きに関すること：
東京大学本部国際教育推進課 学生交流チーム (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)
- (2) UTAS 電子申請「2. 基本情報」及び「4. 家族等関係者の連絡先」記入・修正方法：
応募時の所属学部・研究科の担当部署
- (3) 本学での学務関係の事項：プログラム参加時の所属学部・研究科の担当部署
各学部・研究科の担当部署一覧：
<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>

12. 応募方法・応募書類

- (1) 応募締切日時までに学務システム(UTAS)からの電子申請を完了させること。
 - ◇ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられ、申請は一切受け付けない。また不備(特に募集要項やUTAS電子申請画面に表示される青字の説明に沿っていない不備)のある申請は受理されないか、不備のない申請を行った学生が選考で優先されることになる。余裕を持って応募書類を作成・確認し、応募すること。応募締切後、申請について差し戻しを受けた場合は、差し戻し時に指定される期日までに再提出されれば、選考対象となる可能性がある。応募締切前後は特に、UTASで配信される差し戻しのメールをよく確認すること。
- (2) UTAS 電子申請画面に表示される指示・説明をよく確認し、その通りに入力すること(以下は特に注意が必要な項目)。
 - ◇ 「2. 基本情報」及び「4. 家族等関係者の連絡先」は申請画面では記入・変更できない。そのため記入または変更が必要な場合は、応募時の所属学部・研究科の担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。
 - ◇ 「3. 申請者本人の連絡先」電子メールアドレスは、本プログラムに関するやり取りに使うため、添付ファイル等も受信できる利用し易いメールアドレスとすること。携帯アドレス、iCloudアドレスを登録しているものは、「15. 連絡先メールアドレスについて」に他のアドレスを記載し、当課及び派遣先機関との連絡にはそのアドレスを使用すること。

- ◇ 「6. プログラム中の所属・学年」指導教員等氏名について、いない場合は「なし」と入力すること。いる場合は、「17. 指導教員への連絡」に了承を得た日付を入力すること。
- ◇ 「8. 希望プログラム」には、「海外協力隊員活動プロフィール」を参考に、以下の4つの活動から参加を希望する活動を第二希望まで選択して記載すること。
- ① 小学校教育 配属先：ホ・インターナショナルスクール
 - ② 小学校教育 配属先：アブームザイオン C 小中学校
 - ③ 障害児・者支援 配属先：キビろう学校
 - ④ コミュニティ開発 配属先：ガーナ教育サービス・アブアクワサウス市事務所
- ◇ 「9. 語学能力」には、語学能力証明書を保持している場合は入力、提出すること。所持していない場合はスコアの欄には何も入力せず、①の提出不要の理由欄に「所持していないため」と入力すること。
- ◇ 「14. プログラム参加を希望する理由」には、志望理由を英語で300ワード程度で記述すること。
- ◇ 「18. プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科からの留意事項確認」には、プログラム参加時の所属学部・研究科の担当部署から参加に関する留意点の説明を受けた上で、①担当部署名 ②担当者のイニシャル ③説明を受けた日付・時刻を記入すること。記入されていない場合は申請を受け付けない（例：①●●学部△△チーム ②H・T ③10月21日10時50分）。

(3) 電子申請時に「19. 添付資料」でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

応募書類	対象者	提出方法・備考
・ パスポート顔写真ページの写し	保持者のみ	ただし <u>選考通過後、速やかに提出を求めるため、保持・更新していない場合は、早めに取得・更新しておくことを勧める。</u>
・ 誓約書	全員	指定書式（ダウンロード）に <u>記入・署名後</u> 、PDFで「19. 添付資料」へアップロードする。いずれの署名も電子署名も可とする。
・ 語学能力証明書	保持者のみ	語学能力証明書を保持している場合は、提出すること。電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須となる。証明書が複数ある場合は、全て一つのファイル（PDF）にまとめて提出すること。
・ 学外成績証明書（日本語又は英語）	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で学位を取得した者のみ提出。 ※成績評価の基準（何段階評価か、等）が説明されている部分も含めて提出すること。また、国内外を問わず、大学入学以降全学期の成績証明書を提出すること。高等専門学校、専門学校及び中途退学をした大学や大学院の成績証明書は提出不要である。

【電子申請応募先】

学務システム（UTAS）にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申し込むこと。

◇ 学務システム（UTAS）：<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

◇ 海外派遣プログラム申請の手引き（PDF）：<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400247044.pdf>

を参照のこと。

【応募書類指定書式のダウンロード先】

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/s0501_00107.html

以上